

地域と共に学ぶ子の育成 - 汐田の元気は地域の力 - 豊橋市立汐田小学校

＜連携園 明照保育園 往完保育園 寿泉寺いずみ幼稚園＞

1 実践のねらい

平成2年に開校した本校は、牟呂小学校区から分離独立した新しい地域にある。外国人の住民が多く、小学生420人中79人が外国にルーツをもっている。近年、区画整理が進み、他地域から家を建てて転居してきた人、15棟ある市営住宅に住んでいる人など、他地区や外国から転入してきている人が多い。そのため、住民同士のつながりは他地域に比べ薄いと思われる。より地域のつながりを強くするために、小学校を中心に、近くの幼稚園、保育園と連携して、地域全体の人々が知り合い、仲良くなれるような活動に取り組んでいきたい。

2 実践の内容

(1) 汐田コミュニティサミット（6月3日・12日）

6年生が連携園を訪問し、一緒に校区を仲良く元気にする活動と呼び掛けた。そして、汐田夏祭りに向けて、祭り会場を飾るペットボトルキャンドルの制作を依頼した。ペットボトルキャンドルは、小学校側がペットボトルを回収し、切り口にビニールテープを貼る準備をすることにした。作り方を画用紙にまとめて説明すると、たくさんの園児が「作ってみたい」と興味深く聞いていた。園児の手



【園児にペットボトルキャンドルの作り方を説明する6年生】

で不織布に絵を描いてもらい、それをペットボトルの周りに貼って完成させることにした。その後、園児と共にままごとをしたり、膝に園児を乗せて絵本の読み聞かせをしたりして、園児との関わりを深めた。自分の幼いときのことを思い出す子や園児のかわいらしさを素直に感じ取る子など、肌と肌が触れ合ったからこそ、様々な思いを胸にした。園児と連携し、協働する始めの会とすることができた。

(2) 汐田コミュニティスクール2015（6月28日）

地域の方から地域の良さや伝統を教えていただきながら園児と小学生が地域のお年寄りと交流を深め、お年寄りに元気になっていただくことを願い、汐田コミュニティスクール（授業参観日）を開催した。地域の方、お年寄り、子どもが触れ合いながら、試行錯誤をして作った物だからこそ、出来たときの喜びが大きいようだった。また、中高学年は地域の環境や昔から伝わるものについて地域の方からお話を聞いたり、実物や映像を見たりして、地域のことを見直し、地域に愛着をもつきっかけとなった。

学年	内 容
1	たこ 夙保存会の方から学ぶたこづくり（幼保育園児参加）
2	おもちゃづくり（パタパタ）（老人会・幼保育園児参加）
3	汐田校区の探検発表会 汐田校区の昔の暮らしについて学ぶ会
4	富田川の環境を学ぶ会
5 6	「ええじゃないか」を学ぶ会 「ええじゃないか」創作ダンスを6年から5年に伝える会

(3) 汐田夏祭り（8月1日）

「しおたっこ みらいにつなぐ ちいきのわ」を合い言葉に、校区自治会、PTA、健全育成会が協力して汐田夏祭りを開催した。子どもたちが制作したペットボトルキャンドルが会場の雰囲気盛り上げた。自分が作ったペットボトルキャンドルを見つけて喜ぶ連携園の子どもたちの姿が多く見られた。一方、やぐらの周りには、地域の様々な世代の方と一緒にダンスや炭坑節を、元気いっぱい声を掛け合いながら踊る小学生の姿が見られた。さらに、地域に伝わる龍谷太鼓や汐田煙火会による打ち上げ花火などが夏の夜空に響き渡り、地域のつながりを深めることがで

きる催しとなった。

(4) 汐田コンサート (10月3日)

12回目を迎える汐田コンサートは、地域に住んでいる音楽が好きな子や、近隣の中学校で活躍している中学生の交流の場になっている。今年は、連携園にも「汐田小学校の音楽クラブの子どもと一緒に歌ったり、牟呂中学校、羽田中学校のオーケストラの演奏を聴いたりしませんか」と声を掛けた。音楽クラブの子どもの発表にな



【連携園の子と一緒に「さんぽ」を歌う音楽クラブの子ども】

ると、多くの連携園の子どもが前に出てきて、小学生と一緒に「さんぽ」を歌った。かわいさいっぱい歌声に会場から大きな拍手をいただいた。また、汐田小学校の校歌を牟呂中学校のオーケストラ部の演奏で歌ったり、牟呂中学校、羽田中学校、汐田小学校の金管バンド部で「GUTS」を合同演奏したりした。参加された地域の方に大いに楽しんでいただき、盛り上がったコンサートとなった。参加された方から、多くの賞賛の言葉をいただいた。

(5) 校区合同防災訓練 (11月1日)

同じ地域に住む仲間として、地域が一体になった防災の在り方を考え具体的に体験することをねらいとして、中学校区合同防災訓練を行った。災害が起きたことを前提に、小学生は保護者と共に緊急時集合場所へ集合し、中学生が点呼を取ったり指示を出したりしてくれた。そして、全員で避難場所である汐田小学校へ向かった。その後、右の表のような災害時に役立つ2講座を受けた。



【三角巾の使い方をお家の方に実践する子どもたち】

三角巾の使い方、新聞で作るスリッパ、毛布での搬送の仕方を中学生が教えてくれた。中学生は学年のレベルに合わせて、ゆっくり、丁寧に、分かりやすく教えてくれた。連携園の子どもも低学年の講座に参加し、中学生に教えてもらいながら一緒に活動することができた。消火器の使い方、煙体験、放水体験を自治会や自警団、消防団の方に教えてもらっ

学年	講座 1	講座 2
1 年	放水体験	新聞紙スリッパ
2 年	煙体験	三角巾の使い方
3 年	水消火器	毛布搬送の仕方
4 年	新聞紙スリッパ	放水体験
5 年	三角巾の使い方	煙体験
6 年	毛布搬送の仕方	水消火器

た。今回の訓練を通して、災害が起きたときはどのようにするのかという見通しがもてたり、中学生や地域の方と助け合いながら、自分ができることはやりたいという気持ちをもつことができたりと、災害が起きたら地域で助け合おうとする心の準備をする良い機会となった。

3 実践の成果や課題

連携園の子どもと共に汐田コミュニティスクール、汐田夏祭り、汐田コンサートに参加し、地域の方と共に楽しみ、喜び合うことができた。子どもたちは、地域の方と共に生活していることを実感し、自分も地域の仲間の一人である自覚を深めることができた。また、連携園の子どもたちとの協働を通して、小さい子の気持ちを察して行動するような優しさや思いやりの気持ちを育むことができた。

校区合同防災訓練では、子どもたちは地域の方と協力しながら自分に課せられた役割を果たした。このことを通して、子どもたちは、地域の一員として、被災時には自分も何かできることをしたいという気持ちをもつことができ、社会参画の意識を高めることができた。